

女 4 懐かしいなあ、この家……

男 もう済んだろ、帰ってくれよ。

女 4 奥さんと別居したんだって？

男 ……誰から聞いた。

女 4 田所先輩。

男 田所から？

女 4 うん、お母さん亡くなったってことも彼から聞いた。

男 なんだあいつから。

女 4 え、だって知らせたんでしょ、映研の人達に。

男 そういう事じゃなくてさ……連絡取り合ってるのかって、あいつと。

女 4 最近、ね。

男 やめとけよ、あいつは。

女 4 何を？

男 あいつのとき子供いるんだから。

女 4 ……失礼ね。

男 違うならいいけど、お前、分かんないから。

女 4 何が？ え？ 分からないって何が？

男 いいよ、もう。

女 4 出たかったんだよ、私だって……葬儀。

男 ……

女 4 お母さんとここで一緒にビデオ見たんだよね、卓也が撮って私が出るの。

男 そんな話いいだろ。

女 4 「爆弾娘」……まだある？

男 さ、帰ってくれ。

女 4 冷たいなあ……ずいぶん。

男 一体いつになったら俺を解放してくれるんだ、お前は。

女 4 そんな拉致監禁みたいな。

男 帰れよ。

女 4 もっと優しいよ、田所先輩は。

男 ……。

女 4 卓也先輩も優しくかったけどね。

男 出てけっ。

女 4 ウソウソ、田所さんとは何もないって。

男 そんなこと聞いてない、出てけっ！

女 4 ……。

男 頼むからっ！ もうお前と顔付き合わせるのは御免なんだよ。

女 4 ……ちよつと、それひどい。

男 俺の人生メチャクチャなんだぞ、もう。

女 4 最初に誘ったのは卓也じゃない、そうだよ、違う？ 違うじゃないね。

男 ……またその話か……。

女 4 だって……大事なことじゃない、そのところっでさ。

男 あん時の状況でどっちがとが……いいよ、それも前に話した。

女 4 私が子持ちのバツイチだって知ってたんだよね。私が寂しい事知ってたんだよね。私ならすぐにセックスできると思ってたんだよね。私なら押しかけたりしないと思っただんだよね。そうだよ。

男 ……それも聞いた……。

女 4 そうだよ……もう私たちにはこんな話しかないんだから……。

男 俺たちはもうカタがついたろ、違うのか。

女 4 ついてないよお、卓也あ。

男 あの日だってそうだ、まんまと俺をおびき寄せやがって……あの日には俺は全てを失ったんだ……家庭も仕事も将来も。

女 4 ……。

男 全部ぶっ壊れたっ！